

十勝岳周辺の地殻変動*

Crustal Deformations around Tokachi Volcano

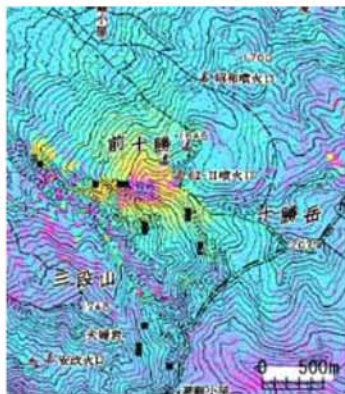
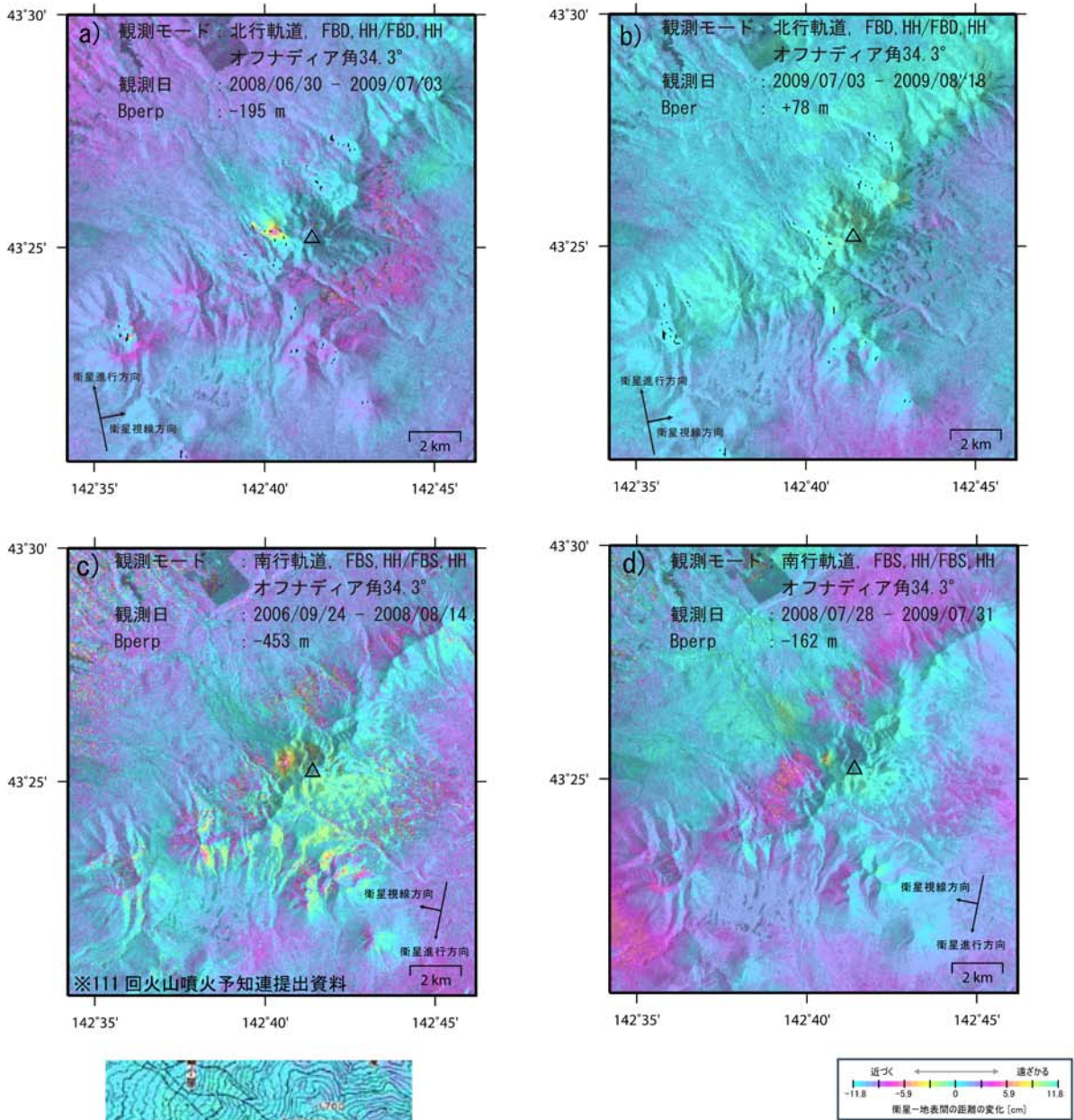
国土地理院

Geospatial Information Authority of Japan

第1図は、「だいち」PALSARによる十勝岳周辺のSAR干渉画像である。上段左(a)は北行軌道で2008年6月30日と2009年7月3日のペア、上段右(b)は北行軌道で2009年7月3日と2009年8月18日のペア、中段左(c)は南行軌道で2006年9月24日と2008年8月14日のペア(会報第101号掲載画像の再録)、中段右(d)は南行軌道で2008年7月28日と2009年7月31日のペアを取った解析結果である。(a)と(d)の干渉画像で前十勝周辺に地殻変動と思われる変化が検出された。(a)の中央部を拡大したものが左下図である。直径500m程度の範囲で衛星に近づく向きに約8cmの変動が見られる。2008年以前のペアである(c)に見られた変動域と同じ領域であるため、火口直下の浅い位置に膨張源が引き続き存在していると考えられる。

謝辞

だいち/PALSARデータの所有権は、経済産業省および宇宙航空研究開発機構にあります。またデータは、国土地理院と宇宙航空研究開発機構との共同研究協定に基づいて、提供を受けたものです。この場を借りて、御礼申し上げます。



a) の前十勝周辺を拡大した図

Analysis by GSI from ALOS raw data of JAXA, METI

第1図 「だいち」 PALSAR による十勝岳の解析結果

Fig.1 Interferometric analysis of SAR acquired by “Daichi” PALSAR around Tokachi Volcano.